

# 第36回

# 日本手術看護学会年次大会

The 36th Annual Meeting of Japan periOperative Nursing Academy

## 周術期看護の大切なもの

— 患者中心の周術期看護を目指したチーム連携 —

- 開催形態** 現地開催と会期後のオンデマンド配信となります。
- 会期** 2022.11.4(金)5(土)
- 会場** 名古屋国際会議場
- 大会長** 後藤 紀久 (岐阜大学医学部附属病院)



<b>参加申込方法</b>	会員・非会員とも参加申込は、事前参加申込のみといたします。当日の参加申込は、ありませんので、ご注意ください。 *参加申込をいただきますと現地開催、会期後のオンデマンド配信の両方に参加が可能です。		
<b>参加費</b>	会員 (2022年度)8,000円 非会員 15,000円(抄録集含む) 事前参加費のお支払いは、「クレジット決済」のみになります。	<b>参加申込期間</b> (事前参加費支払期間)	<b>2022年 7月20日(水) 12時～</b> <b>9月30日(金) 12時</b>

### プログラム

#### 現地開催・オンデマンド配信

- 招待講演** AORNガイドライン「サージカルスモークの安全性と静脈血栓症予防」  
Emily Jones(AORN)
- 特別講演 I** 手術患者の思いはここにある!  
山口 育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML)
- 特別講演 II** 看護職の処遇改善に至る経緯と看護職に求められる政策力  
福井トシ子(公益社団法人日本看護協会)
- 大会長講演** 患者中心の看護を提供するための手術室と病棟との連携  
後藤 紀久(岐阜大学医学部附属病院)
- 教育講演 I** 患者の代弁者として求められること  
荒神 裕之(山梨大学医学部附属病院)
- 教育講演 II** 最新鋭支援ロボットで変わる整形外科手術  
小川 寛恭(岐阜大学医学部附属病院)
- 教育講演 III** コンフリクトマネジメントを活かしたコミュニケーション  
松浦 正子(日本赤十字豊田看護大学)
- 教育講演 IV** 手術看護に役立つ周術期アセスメント  
長坂 安子(東京女子医科大学病院)
- 教育講演 V** これからの看護師教育  
庄野 泰乃(日本赤十字社医療事業推進本部)
- 教育講演 VI** 顧客の満足度を向上させるための職員教育  
野坂 泰行(サマンサジャパン株式会社)
- トピックス I** 家族の思いを知ろう!  
前田 奈美(長野県立病院機構長野県立こども病院)
- トピックス II** タスク・シフト/シェアの方向性  
友納 理緒(公益社団法人日本看護協会)
- トピックス III** Team STEPPS®を活用した安全な医療の推進  
種田憲一郎(国立保健医療科学院)
- トピックス IV** 皆さんの悩みを解決します! (\*参加者の意見交換)
- シンポジウム I** 手術患者を支えるチーム力
- シンポジウム II** 認知症患者の周術期看護の心得
- シンポジウム III** 新たな時代の周術期医療
- シンポジウム IV** チームの要となるリーダー看護師育成
- シンポジウム V** 患者・家族に寄り添った看護を目指して
- 教育セミナー** ロボット支援手術における周術期のチーム連携

各種報告会、研究発表、フリートークセッション、共催セミナー、展示会

※標題と演者等は、変更になる場合がありますので、HP等でご確認ください。

**お問合せ先** 日本手術看護学会事務局 E-mail:kaiin-1@jona.gr.jp

